

(6) 競争試験の状況(令和6年度)

(単位:人)

職種区分	受験者数	合格者数	合格率
上級事務	345	33	9.6%
上級事務(福祉)	22	3	13.6%
上級技術(土木)	2	0	0.0%
上級技術(建築)	1	1	100.0%
上級技術(電気)	2	1	50.0%
上級技術(機械)	3	0	0.0%
中級技術(土木)	0	0	0.0%
職務経験者(土木)	4	2	50.0%
職務経験者(建築)	0	0	0.0%
職務経験者(電気)	0	0	0.0%
職務経験者(機械)	2	1	50.0%
保健師	28	8	28.6%
発達相談員	4	3	75.0%
保育士	56	37	66.1%
幼稚園教諭	24	9	37.5%
学芸員(民俗)	4	2	50.0%
学芸員(彫刻)	11	3	27.3%
学芸員(考古)	9	2	22.2%
管理栄養士	21	5	23.8%
職務経験者(一般事務)	96	23	24.0%
職務経験者(土木)	4	4	100.0%
消防職	71	19	26.8%
事務職(障害のある方)	6	1	16.7%
初級技術職(土木)	1	0	0.0%
合 計	716	157	21.9%

(7) 選考の状況(令和6年度)

(単位:人)

職種区分	採用者数
教育職(県から)	16
幼稚園講師(任期付職員)	11
小中学校講師(任期付職員)	25
一般事務(任期付職員)	6
合 計	58

2 職員の人事評価の状況

組織の目標の達成、職員の育成や能力開発、職場の活性化を図ることを目的として、職員がその職務を遂行するに当たっての姿勢や態度、職務遂行上発揮した能力、身に付けている知識・技術を把握した上で行う「能力評価」及び職員自身が設定した「重点目標」の目標達成状況を把握した上で行う「業績評価」による人事評価を実施しており、評価の結果は人材育成や給与等の人事管理の基礎として活用します。